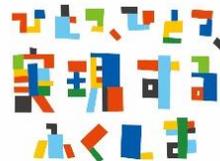


# 未来につなごう！

福島の子どもたちに、これからも育みたい力

## ふくしま型レジリエンス

～「子どもの心のサポートチーム協議会」からの提言～



福島県教育委員会  
令和7年3月発行

「子どもの心のサポートチーム協議会」は、東日本大震災を経験した福島の子どもたちの心のケアを目的に、東日本大震災以降、毎年度教職員や専門家などが集まり、子どもたちが健やかに育つための支援について話し合っている会です。

子どもの心のサポートチーム協議会において、子どもたちの今を確認する中で、近年になり福島の子どもたちに育まれてきた力が明らかになりました。その力は、子どもたちが生きていく上での原動力であり、これからもより一層育みたい力であると捉え、本協議会の提言としてまとめの至りました。

このリーフレットでは、「ふくしま型レジリエンスは、どんな力なのか」「ふくしま型レジリエンスが育まれている子どもの姿とは？」「周りの大人は、どのように働きかけ、支え育てていけばよいのか」「学校や保護者・地域、関係者等が大切にしたいこと」「福島県ではどのような取組を行っているのか」をご紹介します。



### ふくしま型レジリエンスは、どんな力なのか？

#### ふくしまに誇りを持ち、しなやかにたくましく生きる力

レジリエンスは、心の回復力、復元力、前へ進む力等の意味です。よりよい自分を築く礎となります。



福島の子どもたちは「しなやかに」変化に対応し、「たくましく」困難を乗り越えているのです。この力は、福島だけでなく、日本、そして世界で起こる様々な問題にも立ち向かう力になります。



ふくしま応援！  
「ベコ太郎」

### ふくしま型レジリエンスが育まれている子どもの姿とは？

#### 「大丈夫」と自分を励ましたり、困っていることを伝えたりする

「自分自身を大切に」「助けを求める」ことが、困難を乗り越え、未来へ進むために欠かせないものです。

##### 自分自身を大切に、健やかに過ごす姿



自分のペースで  
進んでいこう  
自分をほめよう



##### 困っている時には、助けを求める姿



助けてほしい  
つらかったね



#### みんなと力を合わせる

周囲や地域の人々と協力し、問題を解決したり、地域をよりよくするための活動に取り組むことが、これからの福島をつくっていきます。

##### 周囲の人々と協力し、支え合う姿



その考え、いいね  
一緒にがんばろう



##### 感謝の気持ちを忘れず、優しく接する姿



ありがとうございます

心配ないよ

未曾有の経験から、当たり前に使っている電気や水のありがたさを感じたよ。みんなて使うものを大切にしていきたいね。



#### 新しいことに挑戦しようとする

新しいことに興味を持ち、変化を恐れずに挑戦したり、新しいことに学ぶ楽しさを知らうと働きかけることが、新たな福島をかたちづくれます。

##### 困難に立ち向かう姿



難しそうだけど、やってみよう！

この経験はいつか役立つはず



##### 経験から学び、挑戦し続ける姿



失敗しても大丈夫

次に生かしてみよう



困ったり失敗したりしても、周りの誰かが助けたり励ましたりしてくれるって、すてきです。



このような姿を表出する子どもたちを支え育てているのは、周りの大人の働きかけです。これからも大切にしていきたい働きかけを裏面で紹介します。



周りの大人は、どのように働きかけ、支え育てていけばよいのかな？

子どもの成長を支え、寄り添うために **私たちにできること** ～5つの提言～

「ふくしま型レジリエンス」は、安心できる環境の中で育まれます。この力を育むために、私たち大人にできることはたくさんあります。子どもたちとの関わりの中で大切にしてほしいことを5つにまとめました。

**励ます** 温かい言葉とまなざしで、背中を押してあげましょう。

**肯定する** 具体的な行動やよさを認めて、自信につなげましょう。

**絆を深める** 思いを伝え合い、支え合う経験を積み重ねましょう。

**信頼する** 子どもの自主性を尊重し、温かく見守りましょう。

**傾聴する** じっくりと子どもたちの話に耳を傾けましょう。

学校や保護者・地域、関係者等が大切にしたいこと

ふくしま型レジリエンスを育む基盤をつくる合言葉は**“経験から学ぶ”**と**“まなざしを共有”**

道徳教育と特別活動を両輪とし、豊かな体験活動や人間関係づくりを通して、子どもたちの「よりよく生きるための基盤となる道徳性」や「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」といった資質・能力を育みましよう。

保護者会や地域懇談会等で、学校の教育活動や家庭・地域で大切にしていることを伝え合い、子どもへのまなざしを共有しましょう。

「ふくしま道徳教育資料集」などを活用して震災を乗り越えてきた経験から学ぶ学習活動は、「ふくしま型レジリエンス」を育む上で効果的です。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、医師、保健師等の専門家と共に、それぞれの立場から子どもへの思いを伝え合い、まなざしを共有して、子どもたちの心のケアの充実につなげましょう。

「経験から学ぶ」教育活動の充実

「まなざしを共有」する場の設定と充実

子どもの心のサポートチーム協議会の歩みと思い

| 年度      | 23                                   | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | R2 | R3                 | R4 | R5 | R6 |
|---------|--------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--------------------|----|----|----|
| 東日本大震災  |                                      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                    |    |    |    |
|         |                                      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                    |    |    |    |
|         |                                      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                    |    |    |    |
|         |                                      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                    |    |    |    |
|         |                                      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                    |    |    |    |
|         |                                      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                    |    |    |    |
| 県総合教育計画 | 第6次 (R22年度～R26年度) ・改定版 (R25年度～R29年度) |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 策定 第7次 (R4年度～12年度) |    |    |    |

今日まで社会情勢は大きく変化し、子どもたちが抱える課題も多様化してきました。その中で、本協議会は、常に子どもたちの心の声を聴き、ニーズに応えるための取組を続けてきました。特に、東日本大震災からの復興に向けては、被災地の子どもたちの心のケアに焦点を当て、具体的な支援策を検討してきました。

これらの経験を踏まえ、今後も、子どもたちの心の健康を支えるための活動を継続し、よりよい未来へと繋げていきたいと考えています。そして、子どもたちが「ふくしま型レジリエンス」を育み、未来を創造していくことができるよう、地域社会全体で子どもたちを支えていくことが、私たちの願いです。

東京成徳大学特任教授  
学校心理士認定運営機構理事長

石隈利紀

福島県ではどのような取組を行っているのかな？

スクールカウンセラー  
スクールソーシャルワーカー

暴力行為、いじめ、  
不登校

教育相談

道徳教育

子どもの心のケアとサポートのために

Vol. 1

Vol. 2

ふくしま道徳教育資料もダウンロードできます。

様々な取組や実践事例が掲載されていますよ。